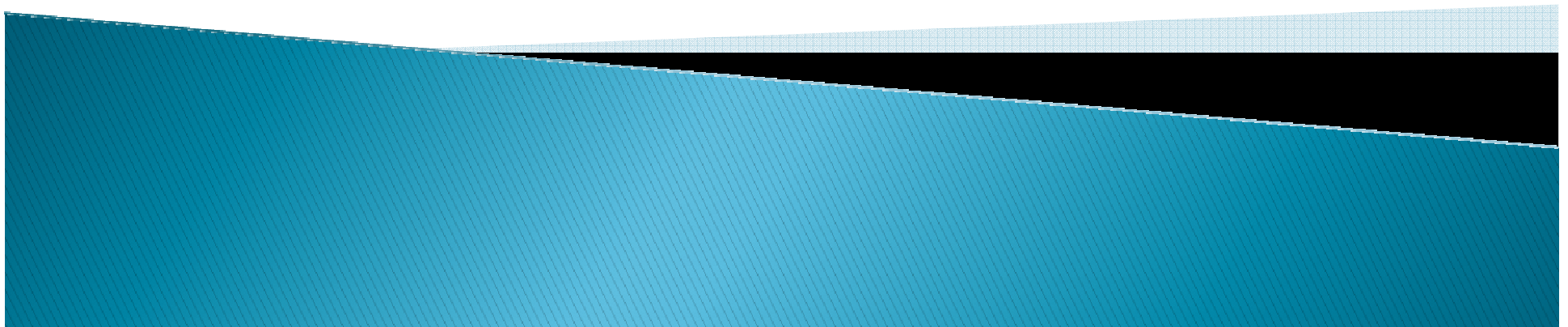


# AFFORDD

## 研究会活動のガイド

2010.08.21

研究会評議委員会 林 好一



# Agenda

- ▶ 研究会評議委員の役割
- ▶ 選定された研究会テーマと希望者数
- ▶ 研究会活動の進め方
  - 研究会成果物の扱い
- ▶ 活動指針

# 研究会評議委員の役割

- ▶ 研究会の活動の支援
- ▶ 委員ごとにいくつかの研究会を担当
  - 担当する研究会の ML に登録
  - 研究会に所属する場合はその研究会を担当に含める(委員の負担軽減)
- ▶ 研究会のリーダーと協力し合い、活動が滞らないように支援
  - 研究の進め方についての相談
  - 論文としての記述についての相談
- ▶ 研究会の活動を進める上で、フォーラムの実施が必要あるいは有効と判断されるときには、運営委員会に提案
  - 時期、テーマ/内容、招聘講師、etc
- ▶ 研究会の活動状況を運営委員会で報告
- ▶ 委員：林、斎藤、渡辺(滋)、永田、清水

# 選定された研究会テーマと希望者数

- ▶ 会員数：正会員 59名、賛助会員登録会員 27名
- ▶ 研究会への参加者：45名
- ▶ 研究会テーマ：10

| #  | テーマ                 | 人数 |
|----|---------------------|----|
| 1  | 障壁の克服方法             | 3  |
| 2  | 「USDM」の入門           | 7  |
| 3  | 「XDDP」の入門           | 6  |
| 4  | 「XDDP」とテストプロセスとの接続  | 5  |
| 5  | 影響箇所の気付き            | 5  |
| 8  | 大規模システムへの効果的対応      | 3  |
| 9  | ビジネス領域での「XDDP」の活用   | 3  |
| 11 | 上位の要件開発技法と「USDM」の連携 | 4  |
| 14 | SPLと「XDDP」の連携       | 5  |
| 15 | 「USDM」の支援ツール        | 4  |

# 研究会活動の進め方1 / 2

- ▶ 協議会が一定の環境を用意します
  - 各研究会ごとに ML とファイルサーバを用意します
    - ・ リーダを中心に ML で意見の交換を進めてください
    - ・ 活動途中の成果物の最新版はファイルサーバで共有してください
    - ・ Twitter の利用に関して、協議会としての支援はありません
  - 各研究会のホームページを用意します
    - ・ テーマに関連する文献や調査情報などの初期版を掲載します
- ▶ 要望があれば協議会の方で(定期的に)会場を設定することを検討します
  - 研究会の活動状況を見て判断します
  - 会場の都合によっては、いくつかの研究会をまとめることもあります
  - 各研究会で適時どこかに集まって話し合うことももちろん構いません

# 研究会活動の進め方 2 / 2

## ▶ 研究会の成果

- 基本的に、年度ごとにウェブサイトで公開していただきます
  - まとめ方は後ほど説明します
- 技術会議・論文誌等への投稿も歓迎
  - 担当委員に相談してください
- 流用または引用する場合には「研究会の成果の取り扱いに関する規定」に従ってください
  - 基本は「断りを入れる」、「自分一人の成果としない」ということです

## ▶ 報告

- 1、2ヶ月に1回は担当の研究会評議委員に状況を報告してください

## ▶ 協議会への要望

- リーダからメールでお知らせください
  - とりあえず [query@xddp.jp](mailto:query@xddp.jp) 宛てにお願いします

# この後のテーマごとのセッション

- ▶ 自己紹介
- ▶ 役割分担(リーダー等)
- ▶ テーマに対する意識合わせ
- ▶ ゴール設定(成果物イメージ)とスケジューリングなど
- ▶ 14:00～15:30
- ▶ セッション後、打ち合わせた内容をリーダーから発表してください(2～3分／テーマ)